

別紙 営農類型ごとの経営規模及び生産方式の指標

※令和3年3月策定 第4次農林水産業元気再生戦略より引用

1 営農類型と経営指標の作成

本県の基盤産業である農業を発展させていくためには、多様な農業者一人ひとりが「農業所得の増大」を実感でき、産業として魅力ある農業の実現を図っていくことが重要である。

具体的には、他産業と遜色のない所得水準を確保し、地域農業を牽引する競争力の高い経営体、いわゆる「トップランナー」に加え、他産業を上回る所得水準を確保し、正社員を雇用する企業的経営を展開する「スーパートップランナー」の育成を推進していく必要がある。

そのため、トップランナーやスーパートップランナーを目指す際の参考指標として、目標とする農業所得の確保に向け、栽培面積や作目構成、労力、収益性などを検討するため、県内の実例等に基づく営農類型とそれぞれの経営指標を整理した。

トップランナー向けの営農類型として、主たる経営者の農業所得が400万円以上となる農家及び農業法人を想定し32件の経営指標を作成するとともに、スーパートップランナー向けの営農類型として、主たる経営者の農業所得が800万円以上となる農業法人を想定し11件の経営指標を作成した。

2 営農類型と経営指標の活用

これらの営農類型や経営指標の活用により、普及活動等における経営指導や支援を強化し、地域農業を牽引する「トップランナー」や「スーパートップランナー」の育成・拡大を図る。

○普及活動やJA等の営農指導での提案

- ・生産性の向上等の個別経営体の経営改善や、個別経営体から法人化への発展、集落営農組織の法人化の場面など、経営規模の拡大や所得拡大に向けた具体的な提案として活用

○経営改善に向けた経営状況の分析

- ・農業経営体自らの経営改善に向け、現在の経営状況を分析する際の参考資料として活用

3-1 トップランナー向けの営農類型別経営指標一覧

※主たる経営者1人当たりの農業所得 400 万円以上の農家及び農業法人を想定

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
1	さくらんぼ+ぶどう+水稲 【果樹+水稲】	○		○		経営規模 = 2.1ha さくらんぼ = 0.3ha ぶどう (デラウェア) = 0.3ha (大粒系) = 0.3ha 水稲 = 1.2ha	主たる経営者の農業所得 5,005 千円 ◇販売金額 18,824 千円 ◇農業所得 10,009 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 974 千円 ・補助的従事者 7 人	●省力化新技術(さくらんぼY字仕立) ○さくらんぼ5割、大粒系ぶどう5割を直販・贈答用で販売 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は4戸共同利用
2	さくらんぼ+啓翁桜+水稲 【果樹+花き+水稲】	○		○		経営規模 = 4.2ha さくらんぼ = 0.3ha 啓翁桜 = 1.5ha 水稲 = 2.4ha	主たる経営者の農業所得 4,907 千円 ◇販売金額 13,190 千円 ◇農業所得 4,907 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,139 千円 ・補助的従事者 4 人	●省力化新技術(さくらんぼY字仕立) ○さくらんぼ5割を直販・贈答用で販売 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は3戸共同利用
3	さくらんぼ+水稲+なす+飼料用米 【果樹+水稲+野菜】	○		○		経営規模 = 4.8ha さくらんぼ = 0.3ha 水稲 = 2.8ha なす = 0.2ha 飼料用米 (直播) = 1.5ha	主たる経営者の農業所得 5,532 千円 ◇販売金額 13,332 千円 ◇農業所得 5,532 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,122 千円 ・補助的従事者 3 人	●省力化新技術(さくらんぼY字仕立) ○さくらんぼ5割を直販・贈答用で販売 ○水稲、飼料用米は共同乾燥調製施設利用。主要機械は3戸共同利用
4	さくらんぼ+りんご+水稲+飼料用米 【果樹+水稲】	○		○		経営規模 = 5.1ha さくらんぼ = 0.2ha りんご = 0.4ha 水稲 = 3.0ha 飼料用米 (直播) = 1.5ha	主たる経営者の農業所得 5,338 千円 ◇販売金額 12,945 千円 ◇農業所得 5,338 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 641 千円 ・補助的従事者 2 人	●スマート農業技術(りんごロボット草刈り) ●省力化新技術(さくらんぼY字仕立、りんご朝日ロンバス方式) ○さくらんぼ5割、りんご3割を直販・贈答用で販売 ○水稲、飼料用米(はえぬき)は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
5	りんご+すもも+水稲 【果樹+水稲】	○				経営規模 = 3.0ha りんご = 0.8ha すもも = 0.4ha 水稲 = 1.8ha	主たる経営者の農業所得 5,458 千円 ◇販売金額 12,874 千円 ◇農業所得 5,458 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 763 千円 ・補助的従事者 2 人	●スマート農業技術(りんごロボット草刈り) ●省力化新技術(りんご朝日ロンバス方式) ○りんご3割を直販・贈答用で販売 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は3戸共同利用
6	ぶどう+啓翁桜+水稲 【果樹+花き+水稲】	○		○		経営規模 = 4.8ha ぶどう (デラウェア) = 0.3ha (大粒系) = 0.2ha 啓翁桜 = 1.6ha 水稲(直播) = 2.7ha	主たる経営者の農業所得 5,804 千円 ◇販売金額 16,471 千円 ◇農業所得 5,804 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,029 千円 ・補助的従事者 3 人	○大粒系ぶどう5割を直販・贈答用で販売 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
7	ぶどう 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 1.1ha ぶどう (デラウェア) = 0.7ha (大粒系) = 0.4ha	主たる経営者の農業所得 4,819 千円 ◇販売金額 18,469 千円 ◇農業所得 9,638 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 992 千円 ・補助的従事者 5 人	○大粒系ぶどう5割を直販・贈答用で販売

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
8	日本なし+水稲 【果樹+水稲】				○	経営規模 = 2.6ha 日本なし = 1.2ha 水稲 = 1.4ha	主たる経営者の 農業所得 6,637 千円 ◇販売金額 17,210 千円 ◇農業所得 6,637 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 4,165 千円 ・補助的従事者 7 人	○日本なし4割直売・贈答用で販売 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は4戸共同利用
9	きゅうり+水稲+大豆 【野菜+水稲】	○	○	○		経営規模 = 8.6ha きゅうり(夏秋) = 0.3ha 水稲 = 5.0ha 大豆(委託) = 3.3ha	主たる経営者の 農業所得 5,954 千円 ◇販売金額 16,790 千円 ◇農業所得 5,954 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,250 千円 ・補助的従事者 3 人	○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用 ○大豆は法人等へ特定作業委託
10	きゅうり 【野菜専作】	○	○	○	○	経営規模 = 0.5ha きゅうり(半促成) = 0.26ha (抑制) = 0.26ha	主たる経営者の 農業所得 4,036 千円 ◇販売金額 17,845 千円 ◇農業所得 4,036 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,903 千円 ・補助的従事者 3 人	○パイプハウスによる年2作栽培
11	トマト+たらの芽+水稲 【野菜+水稲】		○	○		経営規模 = 7.0ha 夏秋トマト = 0.3ha たらの芽 = 2.0ha 水稲 = 4.0ha	主たる経営者の 農業所得 4,422 千円 ◇販売金額 26,108 千円 ◇農業所得 8,843 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払雇用費 1,520 千円 ・補助的従事者 2 人	○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
12	トマト+水稲+飼料用米 【野菜+水稲】	○		○		経営規模 = 9.5ha 夏秋トマト = 0.3ha 水稲 = 5.0ha 飼料用米 = 4.0ha	主たる経営者の 農業所得 5,041 千円 ◇販売金額 20,318 千円 ◇農業所得 5,041 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,329 千円 ・補助的従事者 3 人	○トマトは共同選果施設利用 ○水稲は共同乾燥調製施設利用 ○飼料用米は専用種利用
13	トマト 【野菜専作】	○	○	○	○	経営規模 = 1.27ha 夏秋トマト = 0.94ha 周年栽培 = 0.33ha (環境制御)	主たる経営者の 農業所得 4,611 千円 ◇販売金額 66,779 千円 ◇農業所得 9,221 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 10,458 千円 ・補助的従事者 19 人	●スマート農業技術(環境制御ハウス) ○共同選果施設利用
14	ミニトマト+たらの芽+水稲+大豆 【野菜+水稲】	○	○	○		経営規模 = 7.3ha ミニトマト = 0.2ha たらの芽 = 1.0ha 水稲 = 4.0ha 大豆(委託) = 2.0ha	主たる経営者の 農業所得 4,005 千円 ◇販売金額 20,284 千円 ◇農業所得 8,009 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 1,229 千円 ・補助的従事者 3 人	○ミニトマトは個別選果 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用 ○大豆は法人等へ特定作業委託
15	ねぎ+うるい+水稲 【野菜+水稲】		○		○	経営規模 = 8.1ha ねぎ(夏秋どり) = 0.8ha (秋冬どり) = 0.7ha うるい = 0.9ha 水稲 = 4.5ha	主たる経営者の 農業所得 6,490 千円 ◇販売金額 33,809 千円 ◇農業所得 12,980 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 4,553 千円 ・補助的従事者 5 人	○ねぎは個選機械化体系 ○うるいは養成株1.0h ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
16	アスパラガス+たらの芽+水稲 【野菜+水稲】		○	○		経営規模 = 9.0ha アスパラガス = 1.5ha たらの芽 = 1.7ha 水稲 = 5.2ha	主たる経営者の 農業所得 4,532 千円 ◇販売金額 29,549 千円 ◇農業所得 9,064 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 4,433 千円 ・補助的従事者 7 人	○アスパラガスは共同選果施設利用 ○アスパラガス0.14ha、たらの芽0.33haを養成 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
17	えだまめ＋水稲＋啓翁桜 【水稲＋野菜＋花き】	○		○		経営規模 = 14.0ha えだまめ = 4.0ha 水稲 = 8.0ha 啓翁桜 = 2.0ha	主たる経営者の農業所得 4,019 千円 ◇販売金額 27,484 千円 ◇農業所得 8,038 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 442 千円 ・補助的従事者 2 人	○水稲は共同乾燥調製施設利用 ○えだまめは収穫機械等2戸共同、出荷調製は選果施設利用
18	おかひじき＋水稲＋飼料用米 【野菜＋水稲】	○		○		経営規模 = 5.1ha おかひじき(春夏播ハウス) = 0.2ha (夏秋播電照) = 0.2ha (春播露地) = 0.1ha 水稲 = 2.9ha 飼料用米 = 1.8ha	主たる経営者の農業所得 6,126 千円 ◇販売金額 16,004 千円 ◇農業所得 6,126 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 587 千円 ・補助的従事者 2 人	○おかひじきはハウスで5回作付けする ○水稲、飼料用米(専用種)は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
19	セルリー＋水稲 【野菜＋水稲】	○				経営規模 = 2.4ha セルリー(夏どり) = 0.53ha (秋どり) = 0.53ha 水稲 = 1.4ha	主たる経営者の農業所得 4,331 千円 ◇販売金額 19,092 千円 ◇農業所得 4,331 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,253 千円 ・補助的従事者 3 人	○セルリーはハウスで2作どり ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は5戸共同利用
20	りんどう＋水稲＋飼料用米(SGS) 【野菜＋水稲】	○	○			経営規模 = 8.1ha りんどう = 0.8ha 水稲 = 4.0ha 飼料用米 = 3.0ha (粳米 SGS)	主たる経営者の農業所得 4,687 千円 ◇販売金額 17,919 千円 ◇農業所得 4,687 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,860 千円 ・補助的従事者 5 人	●スマート農業技術(水稲自動給水装置) ○水稲は共同乾燥調製施設利用
21	りんどう＋スノーボール 【花き専作】	○	○			経営規模 = 1.6ha りんどう = 0.8ha スノーボール = 0.33ha	主たる経営者の農業所得 4,009 千円 ◇販売金額 14,994 千円 ◇農業所得 4,009 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 2,166 千円 ・補助的従事者 6 人	○りんどうは露地栽培、養成1年 ○スノーボールは養成3年、ハウス加温0.08ha、ハウス無加温0.1ha、露地0.15ha
22	ダリア＋水稲＋飼料用米 【花き＋水稲】			○	○	経営規模 = 7.5ha ダリア = 0.2ha 水稲 = 4.2ha 飼料用米 = 3.0ha	主たる経営者の農業所得 4,215 千円 ◇販売金額 15,675 千円 ◇農業所得 4,215 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,116 千円 ・補助的従事者 3 人	○水稲、飼料用米は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用
23	アルストロメリア＋水稲＋大豆 【花き＋水稲】			○	○	経営規模 = 7.5ha アルストロメリア = 0.3ha 水稲 = 4.0ha 大豆(委託) = 3.0ha	主たる経営者の農業所得 4,051 千円 ◇販売金額 25,014 千円 ◇農業所得 8,101 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払雇用費 1,290 千円 ・補助的従事者 2 人	○アルストロメリアは周年出荷 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用 ○大豆は法人等へ特定作業委託
24	繁殖牛＋水稲＋飼料作物 【畜産＋水稲】	○	○	○	○	飼養規模 繁殖牛 = 54 頭 経営規模 = 31.0ha 水稲 = 6.0ha 稲WCS = 5.0ha 牧草 = 20.0ha	主たる経営者の農業所得 4,224 千円 ◇販売金額 50,538 千円 ◇農業所得 8,447 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 2,839 千円 ・補助的従事者 2 人	●スマート農業技術(発情発見装置) ●省力新技術(簡易放牧) ○水稲は共同乾燥調製施設利用

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
25	酪農＋飼料作物 【畜産＋飼料用作物】	○	○	○	○	飼養規模 経産牛 = 60 頭 経営規模 = 12.0ha 牧草 = 12.0ha	主たる経営者の 農業所得 5,648 千円 ◇販売金額 66,440 千円 ◇農業所得 11,295 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 276 千円 ・補助的従事者 1 人	○育成牛は自家育成 ○牧草はロール・ラップサイレージ体系
26	水稲＋大豆＋そば 【土地利用型作物】	○	○	○	○	経営規模 = 100.0ha 水稲 (移植) = 20.0ha (乾田直播) = 40.0ha 大豆 = 20.0ha そば = 20.0ha	主たる経営者の 農業所得 4,580 千円 ◇販売金額 100,635 千円 ◇農業所得 27,478 千円 ・基幹的従事者 6 人 ◇支払労務費 1,128 千円 ・補助的従事者 6 人	●スマート農業技術(直進キープ田植機) ○集落営農法人を想定 ○乾燥調製は自己完結
27	水稲＋えだまめ＋大豆 【水稲＋野菜】	○	○	○		経営規模 = 30.0ha 水稲 = 17.4ha えだまめ = 2.0ha 大豆 = 10.6ha	主たる経営者の 農業所得 5,237 千円 ◇販売金額 35,701 千円 ◇農業所得 10,474 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 704 千円 ・補助的従事者 5 人	●スマート農業技術(直進キープ田植機) ○水稲、大豆の乾燥調製は自己完結 ○えだまめは収穫機を使用し選果施設を利用
28	水稲＋えだまめ＋ねぎ＋大豆 【水稲＋野菜】				○	経営規模 = 24.0ha 水稲 = 13.8ha えだまめ(茶豆) = 2.0ha 軟白ねぎ = 0.1ha 大豆 = 8.0ha	主たる経営者の 農業所得 5,395 千円 ◇販売金額 32,218 千円 ◇農業所得 10,789 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 1,181 千円 ・補助的従事者 4 人	○水稲、大豆(2戸共同)の乾燥調製は自己完結 ○えだまめは機械定 ○軟白ねぎは育苗ハウス後作
29	水稲＋大豆＋庄内柿＋干し柿 【水稲＋果樹＋加工】				○	経営規模 = 18.0ha 水稲 = 9.9ha 大豆 = 7.0ha 庄内柿 = 1.0ha 干し柿 = 40,600 個	主たる経営者の 農業所得 4,202 千円 ◇販売金額 26,661 千円 ◇農業所得 8,403 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 890 千円 ・補助的従事者 2 人	○水稲、大豆(2戸共同)の乾燥調製は自己完結 ○柿はL玉以上の4割を贈答。M玉は干し柿の原料。 ○干し柿加工は全自動皮むき機、温風乾燥機を導入
30	水稲＋ストック＋トルコぎきょう＋大豆 【水稲＋花き】	○	○		○	経営規模 = 12.3ha 水稲 = 7.0ha ストック = 0.1ha トルコぎきょう = 0.1ha 大豆(委託) = 5.0ha	主たる経営者の 農業所得 4,883 千円 ◇販売金額 14,342 千円 ◇農業所得 4,883 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 590 千円 ・補助的従事者 3 人	○水稲は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用 ○ストックは秋出し無加温栽培 ○トルコぎきょうは無加温7～9 月出し栽培
31	水稲＋ミニトマト＋ハウスメロン＋大豆 【水稲＋野菜】				○	経営規模 = 10.8ha 水稲 = 6.0ha ミニトマト = 0.2ha ハウスメロン = 0.2ha 大豆(委託) = 4.4ha	主たる経営者の 農業所得 4,495 千円 ◇販売金額 16,613 千円 ◇農業所得 4,495 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,316 千円 ・補助的従事者 4 人	○水稲は共同乾燥調製施設利用 ○ミニトマトはメロンの後作、ハウス抑制栽培 ○ハウスメロンは早熟栽培
32	水稲＋メロン＋ストック＋飼料用米 【水稲＋野菜＋花き】				○	経営規模 = 8.0ha 水稲 = 4.5ha メロン (トンネル栽培) = 0.3ha (ハウス早熟) = 0.1ha ストック = 0.14ha 飼料用米 = 3.0ha	主たる経営者の 農業所得 5,019 千円 ◇販売金額 15,303 千円 ◇農業所得 5,019 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 923 千円 ・補助的従事者 4 人	○水稲、飼料用米(専用種)は共同乾燥調製施設利用。主要機械は2戸共同利用 ○ストックはハウス早熟メロンの後作

※主な留意事項等の●は、スマート農業技術や省力化技術等の新技術を導入

3-2 スーパートップランナー向けの営農類型別経営指標一覧

※主たる経営者1人当たりの農業所得 800 万円以上の企業的経営を実施する農業法人を想定

No.	営農類型	適応地域				経営規模	販売金額・農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
1	さくらんぼ +もも +りんご 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 2.4ha さくらんぼ = 0.6ha もも = 1.0ha りんご = 0.8ha	主たる経営者の農業所得 8,159 千円 ◇販売金額 31,704 千円 ◇農業所得 16,318 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 2,155 千円 ・補助的従事者 10 人	●スマート農業技術(ロボット草刈り機) ●省力化新技術(さくらんぼY字仕立、りんご朝日ロンバス式栽培) ○さくらんぼ5割、もも3割、りんご3割を直売・贈答用で販売
2	西洋なし +ぶどう +さくらんぼ 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 1.8ha 西洋なし = 1.0ha ぶどう(デラウェア) = 0.2ha (大粒系) = 0.3ha さくらんぼ = 0.3ha	主たる経営者の農業所得 8,775 千円 ◇販売金額 31,891 千円 ◇農業所得 17,550 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 1,484 千円 ・補助的従事者 8 人	●省力化新技術(さくらんぼY字仕立) ○西洋なし3割、大粒系ぶどう5割、さくらんぼ5割を直販・贈答用で販売
3	ぶどう+もも+りんご 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 2.1ha ぶどう(大粒系) = 0.6ha もも = 0.9ha りんご = 0.6ha	主たる経営者の農業所得 9,823 千円 ◇販売金額 32,839 千円 ◇農業所得 19,646 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 894 千円 ・補助的従事者 4 人	●スマート農業技術(ロボット草刈り機) ●省力化新技術(りんご朝日ロンバス式栽培) ○ぶどう5割、もも3割、りんご3割を直売・贈答用で販売
4	すいか +水稲 +飼料用米 【野菜+水稲】	○		○		経営規模 = 16.6ha すいか = 6.0ha 水稲 = 7.3ha 飼料用米 = 3.3ha	主たる経営者の農業所得 7,936 千円 ◇販売金額 57,556 千円 ◇農業所得 15,872 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 2,720 千円 ・補助的従事者 5 人	●スマート農業技術(自動操舵システム、複数工程同時作業) ●省力化新技術(すいかうずまき栽培、水稲高密度播種苗機械移植) ○すいかは共同選果場を利用 ○水稲は共同乾燥調製施設利用
5	にら+うるい 【野菜専作】		○			経営規模 = 9.7ha にら = 6.0ha うるい = 0.64ha 他にら養成畑等	主たる経営者の農業所得 8,508 千円 ◇販売金額 116,202 千円 ◇農業所得 34,032 千円 ・基幹的従事者 4 人 ◇支払労務費 19,887 千円 ・補助的従事者 27 人	○にらは春夏刈り、夏刈り、夏秋刈りの3作型 ○うるいは2年株を収穫・促成栽培
6	ばら 【花き専作】	○	○			経営規模 = 2.0ha ばら = 2.0ha (環境制御)	主たる経営者の農業所得 7,976 千円 ◇販売金額 195,880 千円 ◇農業所得 23,951 千円 ・基幹的従事者 4 人 ◇支払労務費 29,719 千円 ・補助的従事者 22 人	●スマート農業技術(環境制御ハウス) ○養液栽培システムによる周年栽培 ○経営者2名、従業員2名を想定
7	繁殖・肥育一貫+水稲 【畜産+水稲】	○	○	○	○	飼育規模 繁殖牛 = 50 頭 肥育牛 = 85 頭 水稲 = 10ha 牧草 = 20ha	主たる経営者の農業所得 8,545 千円 ◇販売金額 73,381 千円 ◇農業所得 17,090 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 4,926 千円 ・補助的従事者 4 人	●スマート農業技術(発情発見装置) ○繁殖牛の後継牛は外部導入 ○肥育期間22 か月、年間42 頭出荷 ○水稲は共同乾燥調製施設利用。稲わらは繁殖・肥育牛使用に活用

No.	営農類型	適応地域				経営規模	販売金額・農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
8	肥育牛 【畜産専業】	○	○	○	○	飼育規模 肥育牛 =1,000 頭 年間出荷頭数 534 頭	主たる経営者の農業所得 12,522 千円 ◇販売金額 675,366 千円 ◇農業所得 49,043 千円 ・基幹的従事者 8 人 ◇支払労務費 162 千円 ・補助的従事者 1 人	○もと牛導入月齢10 か月、出荷月齢32 か月 ○飼養方法は群飼 ○上物率70% ○経営者2名、従業員6名を想定
9	養豚 【畜産専業】	○	○	○	○	飼育規模 母豚 =300 頭 年間出荷頭数7,038 頭	主たる経営者の農業所得 8,297 千円 ◇販売金額 264,469 千円 ◇農業所得 24,892 千円 ・基幹的従事者 3 人 ◇支払労務費 5,443 千円 ・補助的従事者 4 人	○肥育豚は三元交雑種(母豚は系統豚ガッサンエル由来のLW、交配種豚をデュロック種) ○糞尿処置は自動とし、糞は堆肥発酵処理化、尿と汚水は曝気処理後放流
10	水稲+大豆+ねぎ+飼料用米 【水稲+野菜】				○	経営規模 =50.0ha 水稲 =26.0ha 大豆 =19.8ha ねぎ = 0.2ha (ハウス軟白) 飼料用米 = 4.0ha	主たる経営者の農業所得 8,119 千円 ◇販売金額 55,734 千円 ◇農業所得 16,237 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 3,032 千円 ・補助的従事者 7 人	●スマート農業技術(直進キープ田植機) ●省力化新技術(V溝乾田直播栽培) ○大豆・飼料用米は共同乾燥調製施設利用 ○軟白ねぎは水稲育苗ハウス後作利用
11	水稲+大豆+飼料用米 【水稲専作】	○	○	○	○	経営規模 =30.0ha 水稲 =17.0ha 大豆 =12.0ha 飼料用米 = 1.0ha	主たる経営者の農業所得 8,266 千円 ◇販売金額 39,052 千円 ◇農業所得 16,531 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 978 千円 ・補助的従事者 4 人	●スマート農業技術(直進キープ田植機) ○つや姫は精米直接販売 ○大豆・飼料用米は共同乾燥調製施設利用

※主な留意事項等の●は、スマート農業技術や省力化技術等の新技術を導入